参考資料

令和７年度当初予算案における主要な施策

部　室　名
教　育　部

新規事業及び重要事業総括表

Ⅰ　総　額

【一般会計】

区分	令和７年度	令和６年度	伸び率
予算総額	３，６０９，８３３千円	３，３２４，８８７千円	８．６％
一般会計構成比	８．４％	８．２％	－

Ⅱ　主な新規事業及び重要施策

（単位　千円）

施策１－２　学校教育の充実

Ｐ　１		学力向上支援事業	【学校支援課】	３３，２０７
Ｐ　２	一部新規等	小学校ふれあいサポート事業	【学校支援課】	６８，７３０
		中学校ふれあいサポート事業	【学校支援課】	３８，４７５
Ｐ　３	一部新規等	適応指導教室活用事業	【学校支援課】	２１，８０５
Ｐ　４		鴻巣市立小学校給食費多子世帯保護者負担軽減事業	【教育総務課】	２８，２８１
		鴻巣市立外小学校等給食費等多子世帯保護者負担軽減事業	【教育総務課】	９９５
		鴻巣市立外中学校等給食費等多子世帯保護者負担軽減事業	【教育総務課】	４０３
Ｐ　５	一部新規等	小学校給食食材費物価高騰分支援事業	【教育総務課】	３４，５４０
				（令和６年度補正予算繰越）
Ｐ　６	一部新規等	中学校給食運営事業	【教育総務課】	４２２，８０５
				（令和６年度補正予算繰越　１７，７１０）
Ｐ　７		小学校教育 ICT 環境整備事業	【教育総務課】	１８８，９４０
		中学校教育 ICT 環境整備事業	【教育総務課】	８０，０３６
Ｐ　８		小学校施設改修事業	【教育総務課】	３９１，３４１
Ｐ　９		中学校施設改修事業	【教育総務課】	１５，３２８
Ｐ１０	一部新規等	小学校施設維持管理事業	【教育総務課】	２０４，５２６
		中学校施設維持管理事業	【教育総務課】	１０６，３６９
Ｐ１１		小・中学校適正規模及び適正配置事業	【教育総務課】	６２
Ｐ１２	一部新規等	スクールバス運行事業	【教育総務課】	８０，３６２
Ｐ１３	新　規	（仮称）川里義務教育学校整備事業	【教育総務課】	１０，６９８
Ｐ１４		県外私立高等学校等入学金補助事業	【学務課】	１，０００
Ｐ１５	一部新規等	教育支援センター管理運営事業	【学校支援課】	１８，６５５

施策１－３　青少年の健全育成

Ｐ１６	一部新規等	教育相談室活用事業	【学校支援課】	２９，２２６

施策１－４　市民文化・生涯学習の充実

Ｐ１７	一部新規等	文化芸術振興事業	【生涯学習課】	１６，１３８

Ｐ１８	一部新規等	公民館費庶務事業	【中央公民館】	４５，７９０

施策１－５　スポーツの振興

Ｐ１９		スポーツフェスティバル開催事業	【スポーツ課】	５，３２０
Ｐ２０	一部新規等	公共施設予約システム事業	【スポーツ課】	６，４０９

学力向上支援事業

担当　学校支援課　指導担当
内線　３３１０

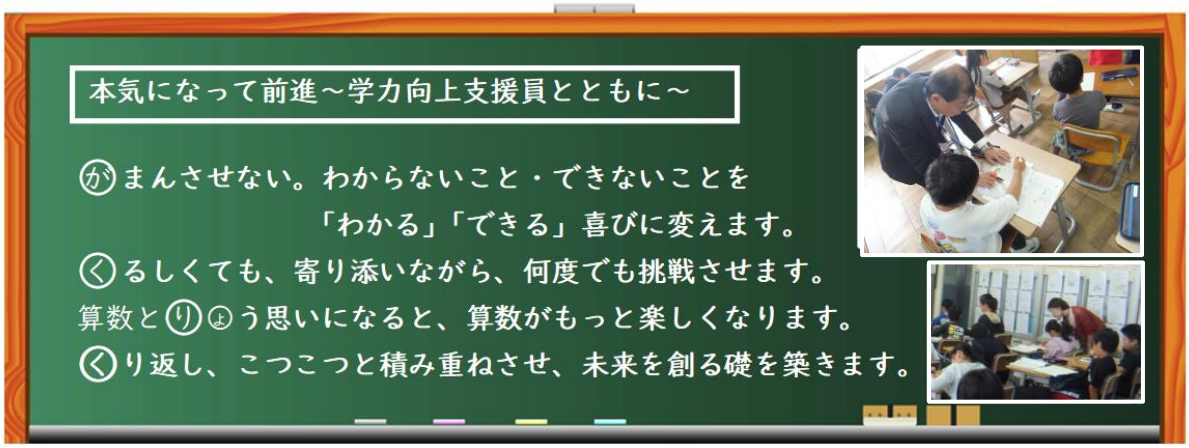
１　目　的

支援員の配置やＩＣＴを活用した個別最適な学びにより、児童生徒一人一人の学力の底上げを図る。

２　事業内容

（１）各校の実情に応じて学力向上支援員や理科支援員を配置し、算数及び小学校理科の授業への支援を行う。

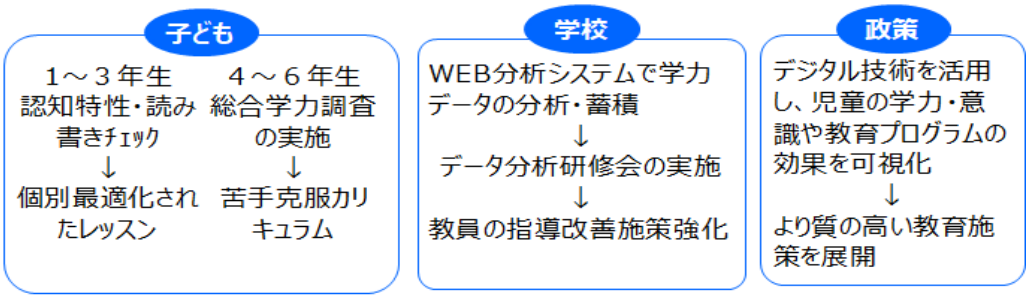
・配置人数　　学力向上支援員　１１名　　理科支援員　４名



（２）データ解析による個別最適な学びを実践するためのシステムを構築する。

・小学４～６年生については、学力調査を実施し、ＷＥＢ分析システムによる児童の学力のデータ化及び成績に合わせた苦手克服カリキュラムの自動生成により、児童の状況に応じた学習を提供する。

・小学１～３年生については、一人一人の認知特性と読み書きスキルを把握し、それぞれの特性に合わせた学習を提供するドリルソフトを導入する。



３　予算額　３３，２０７千円

一部新規・拡充

小学校ふれあいサポート事業・中学校ふれあいサポート事業

担当　学校支援課　教育支援センター
電話　０４８－５６９－３１８１

１　目　的

共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システムとして、個別の教育的ニーズのある児童・生徒に対して、自立と社会参加を見据えて、教育的ニーズに最も的確に応える指導を提供できる多様で柔軟な仕組みを整備する。小・中学校における通常の学級、通級指導教室、特別支援学級等、連続性のある「多様な学びの場」を用意する。

２　事業内容

特別支援教育指導員や通級指導教室指導員等を配置し、障がいのある児童・生徒一人ひとりに応じた介助・学習支援を行うとともに、障がいによる学習上、生活上の困難を克服し、自立に向けて必要な知識及び技能の習得を支援する。令和７年度は特別支援学級（自閉症・情緒障がい）を鴻巣北小学校に設置する。また、通級指導教室（難聴・言語障がい）を鴻巣東小学校に１教室増設する。

３　予算額

小学校ふれあいサポート事業　６８，７３０千円
中学校ふれあいサポート事業　３８，４７５千円

特別支援学級及び通級指導教室の設置数（令和７年度予定）

特別支援学級及び通級指導教室	小学校	中学校
特別支援学級（知的障がい）	16	9
特別支援学級（自閉症・情緒障がい）	13	8
通級指導教室（難聴・言語障がい）	5	0
通級指導教室（発達障がい・情緒障がい）	3	2

特別支援学級の授業の様子

通級指導教室（難聴・言語）の教室

適応指導教室活用事業

担当　学校支援課　教育支援センター
電話　０４８－５６９－３１８１

１　目　的

不登校児童生徒に対し、「鴻巣市適応指導教室（Ｌｅｔ’ｓ教室）」を設置し、心理的安定や基本的な生活習慣の育成、社会性を身につけることを重視し、個別や小集団での学習や体験活動等を通じて、集団生活への適応力を高め、通級児童生徒への支援を行う。

また、集団生活や学級での活動に不安を感じる児童生徒及び不登校児童生徒等に対して、学びの場を確保し社会的自立を促すことを目的に、学校内へ「鴻巣市校内教育支援センター（Ｗｉｔｈ）」を設置する。

２　事業内容

＜適応指導教室（Ｌｅｔ’ｓ教室）＞

教育相談活動　専門教育相談員・臨床心理士等が、児童生徒や保護者との面談を通して、一人一人の状況に応じながら学習や生活の目標を設定し、その実現に向けた支援を行う。在籍校や関係機関との連携を図りながら相談を進めている。

学習活動　指導員を中心に、一人一人の学習における課題や進捗状況を確認し、個別や小集団での指導を効果的に行いながら、「わかる喜び」「できる楽しさ」を味わえる学習を目指す。在籍校でのオンライン授業やALTの訪問授業、体育的活動等も取り入れている。

体験活動　季節に応じた草花の栽培や花壇の整備を行うほか、農園でジャガイモ・サツマイモ・大根を育て、収穫した野菜を使っての調理実習も行っている。

令和７年度に教育支援センターを小谷小学校に移転することに伴い、様々な背景を持つ児童・生徒が利用しやすいよう、開設時間を延長して午後も開室する。

＜校内教育支援センター（Ｗｉｔｈ）＞

令和６年９月より、箕田小学校、鴻巣中学校、赤見台中学校に設置し指導員を１名配置している。
令和７年度は、新たに３校の設置を予定している（設置校は現在調整中）。

３　予算額

２１，８０５千円

鴻巣市立小学校給食費多子世帯保護者負担軽減事業

担当　教育総務課　学校給食担当
電話　０４８－５４３－５３３３

１　目　的

多子世帯の保護者が負担する学校給食費の負担軽減を図る。

２　事業内容

１８歳に達する日以後の最初の３月３１日までの間にある者から数えて３人目以降の児童の市立小学校の給食費を免除する。

３　予算額　２８，２８１千円

鴻巣市立外小学校等給食費等多子世帯保護者負担軽減事業
鴻巣市立外中学校等給食費等多子世帯保護者負担軽減事業

担当　教育総務課　学校給食担当
電話　０４８－５４３－５３３３

１　目　的

多子世帯の保護者が負担する学校給食費等の負担軽減を図る。

２　事業内容

１８歳に達する日以後の最初の３月３１日までの間にある者から数えて３人目以降の児童・生徒の市立外小・中学校等の給食費等について、本市小・中学校の給食費を限度に給付する。

３　予算額

鴻巣市立外小学校等給食費等多子世帯保護者負担軽減事業　９９５千円
鴻巣市立外中学校等給食費等多子世帯保護者負担軽減事業　４０３千円

一部新規・拡充

小学校給食食材費物価高騰分支援事業

担当　教育総務課　学校給食担当
電話　０４８－５４３－５３３３

１　目　的

物価高騰の影響により学校給食食材費が高騰する中、学校給食摂取基準に基づいた安全・安心でおいしい学校給食を安定的に提供していくため、食材費高騰分を支援する。

２　事業内容

国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、令和７年４月から令和８年３月分までの児童の学校給食食材費高騰分１食あたり３５円を小学校長へ補助する。

３　予算額　３４，５４０千円（繰越明許）

令和６年度市民の日記念献立
ひなちゃんパンで「ハイポーズ！！」
～鴻巣ひなちゃんパン、川幅ワンタンスープを提供～

中学校給食運営事業

担当　教育総務課　学校給食担当
電話　０４８－５４３－５３３３

１　目　的

学校給食が生徒の心身の健全な発達に資するものとし、かつ、食に関する正しい理解と判断力を養う食育にも大きな影響を与えることを鑑み、学校給食法に基づき、安全・安心でおいしい学校給食を提供する。

２　事業内容

（１）中学校給食運営

共同調理方式により、学校給食調理等業務委託業者が、中学校給食センターで調理した学校給食を市内８校へ配送し提供する。

（２）学校給食費の多子世帯保護者負担軽減　　４，００４千円

１８歳に達する日以後の最初の３月３１日までの間にある者から数えて３人目以降の生徒の市立中学校の給食費を免除する。

（３）学校給食食材費高騰分への支援　【拡充】　１７，７１０千円（繰越明許）

国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、令和７年４月から令和８年３月分までの生徒の学校給食食材費高騰分１食あたり３５円を支援する。

３　予算額

４２２，８０５千円

１７，７１０千円（繰越明許）

令和６年度市民の日記念献立
市長からのビデオメッセージの放映
～川幅風うどん、鴻巣冬瓜うどんの汁、いがまんじゅうを提供～

小学校教育ＩＣＴ環境整備事業・中学校教育ＩＣＴ環境整備事業

担当　教育総務課　総務担当
内線　３３６４

１　目　的

フルクラウドの ICT 環境を活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実の実現及び教職員の校務の負担軽減・ワークライフバランスの向上を図るため、小・中学校における教育 ICT 環境の整備及び保守管理を実施する。また、CBT（オンラインによるテスト）やデジタル教科書等、今後さらに見込まれる学習者用端末等による利用機会の増加に備える。

２　事業内容

（１）教職員端末等の借上料（予算額　小学校１１０，２４１千円　中学校４６，４１８千円）
令和３年度から５年間のＩＣＴ環境基盤整備・保守管理

（２）サービス利用・活用支援料（予算額　小学校５７，３６１千円　中学校２４，１５９千円）
令和３年度から５年間のＩＣＴサービス利用基盤・活用支援提供

（３）ＩＣＴ通信料（予算額　小学校１８，５３８千円　中学校８，２５９千円）
令和３年度から５年間の全小中学校等へのインターネット接続環境と教職員モバイルルーター通信環境の提供

３　予算額

小学校　１８８，９４０千円
中学校　　８０，０３６千円

数学授業での ICT 環境利用の様子

小学校施設改修事業

担当　教育総務課　施設管理担当
内線　３３６６

１　目　的

公共施設等総合管理計画に基づく、個別施設計画に位置付けられた修繕計画を基本とし、老朽化した学校施設を計画的に改修することにより、児童が安全かつ快適に学校生活を送ることができる教育環境を整備する。

２　事業内容

令和７年度予定事業

・鴻巣中央小学校①棟⑧棟屋上防水等改修工事（予算額３８５，８９７千円）
・鴻巣北小学校プール塗装等改修設計業務委託（予算額　　２，５２６千円）

３　予算額　３９１，３４１千円

鴻巣中央小学校：Ｒ６年度実施（屋上防水等改修設計業務委託）

下忍小学校：Ｒ６年度施工（プール塗装等改修工事）

中学校施設改修事業

担当　教育総務課　施設管理担当
内線　３３６６

１　目　的

公共施設等総合管理計画に基づく、個別施設計画に位置付けられた修繕計画を基本とし、老朽化した学校施設を計画的に改修することにより、生徒が安全かつ快適に学校生活を送ることができる教育環境を整備する。

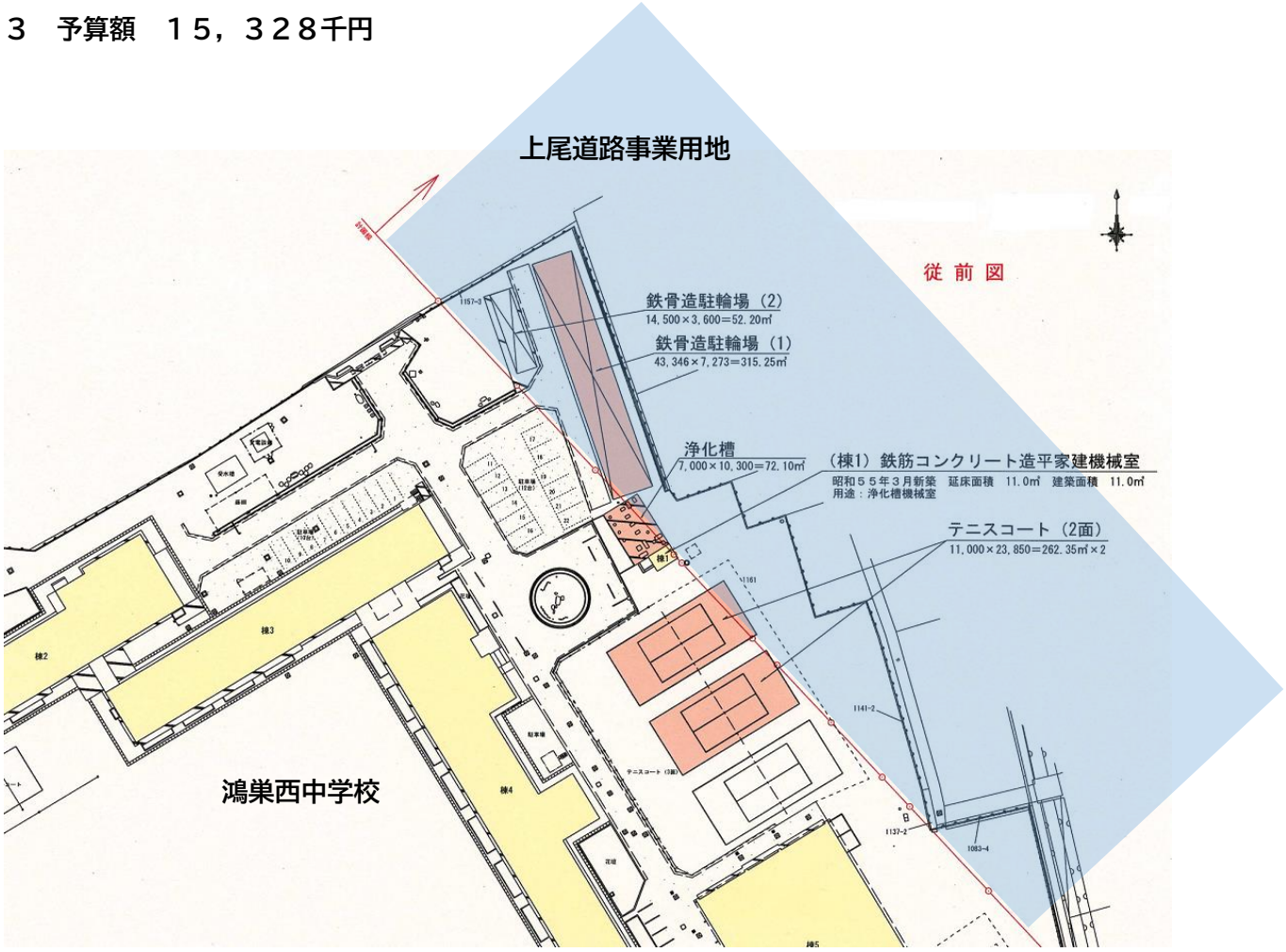
２　事業内容

令和７年度予定事業

国による上尾道路の整備に伴い、鴻巣西中学校の敷地の一部が事業対象用地となっており、支障物件の移設工事を行うための設計業務委託

・鴻巣西中学校施設移設等設計業務委託（予算額１５，２３６千円）

３　予算額　１５，３２８千円



鴻巣西中学校平面図

小学校施設維持管理事業・中学校施設維持管理事業

担当　教育総務課　施設管理担当
内線　３３６６

１　目　的

近年の猛暑に対応し、児童・生徒へ安全で快適な学習環境を提供するため、学校施設の維持管理に努めるとともに、より良い教育環境の整備と避難所環境の充実のため、小・中学校体育館への空調設備導入を検討する。

２　事業内容

小・中学校体育館への空調設備導入に向けた調査を実施する。

令和７年度予定事業
・（小学校）体育館空調方式等検討調査委託料（予算額　４９２千円）
・（中学校）体育館空調方式等検討調査委託料（予算額　３２３千円）

３　予算額

小学校　２０４，５２６千円
中学校　１０６，３６９千円

災害時にも利用可能な学校体育館の空調設備

文部科学省ホームページより

小・中学校適正規模及び適正配置事業

担当　教育総務課　小・中学校適正配置担当
内線　３３６３

１　目　的

「適正規模・適正配置に関する基本的な考え方」に基づき、対象となる地域や保護者との意見交換を行い、学校規模の適正化を進め、こどもたちにとってより良い教育環境を整備する。

２　事業内容

大芦小学校の今後の方針に関する検討

大芦小学校と吹上小学校との統合に向けて、これまで実施してきた「鴻巣市立小・中学校のあり方研究懇話会」や「意見交換会」等の内容を踏まえ、改めて、保護者をはじめとした地域の方々との意見交換を行い、方向性を定める。

３　予算額　６２千円

吹上小学校と小谷小学校の交流授業の様子

大芦小学校

スクールバス運行事業

担当　教育総務課　小・中学校適正配置担当
内線　３３６３

１　目　的

小・中学校の適正配置等の取組により、通学区域の変更が行われた児童・生徒の通学の安全確保及び負担軽減を図るため、「鴻巣市スクールバス運行管理に関する要綱」に基づき、スクールバスによる登下校支援を実施する。

２　事業内容

（１）笠原地域と鴻巣中央小学校間の運行（予算額　１０，０１２千円）

笠原地域に７ヶ所の乗降場所を設け、マイクロバス２台を運行し、令和７年度は５６名の児童が利用する予定。

現在、郷地橋付近で実施されている歩道拡幅等の工事が完了し、通学路の安全性が確保され次第、学校から直線距離２㎞の範囲内の児童については、他の地域と同様に徒歩での通学となる予定。

（２）常光地域と鴻巣中央小学校間の運行（予算額　１９，８００千円）

常光地域に５ヶ所の乗降場所を設け、令和７年度はマイクロバスを３台運行し、６６名の児童が利用する予定。

（３）北新宿地区と下忍小学校間の運行（予算額　２９，７００千円）

北新宿生涯学習センターを乗降場所とし、令和７年度は中型バスを３台運行し、登校時には、発車する時間を２回に分けてピストン運行することで１３９名の児童が利用する予定。

（４）小谷地域と吹上小学校間の運行（予算額　１７，６００千円）

令和６年２月６日付け、鴻巣市立小・中学校通学区域審議会からの答申を受け教育委員会が決定した計画に基づき、令和７年３月３１日に閉校となる小谷小学校については、小谷地域に２ヶ所の乗降場所を設け、マイクロバスを２台運行し、３８名の児童が利用する予定。

３　予算額　８０，３６２千円

鴻巣中央小学校 下校時の様子

新　　規

（仮称）川里義務教育学校整備事業

担当　教育総務課　小・中学校適正配置担当
内線　３３６３

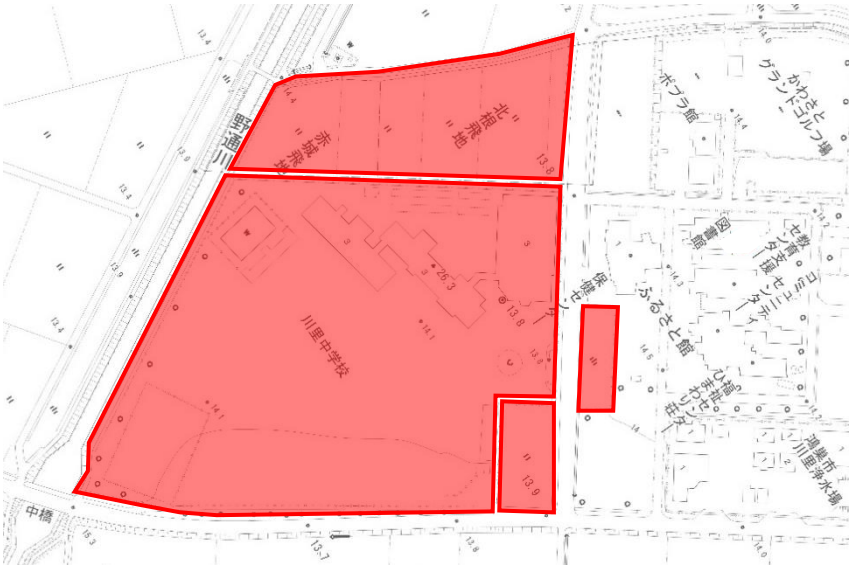
１　目　的

小学校・中学校を一体的に整備し、川里地域の各校が抱える様々な課題に対応するとともに、９年間一貫性のある教育活動を含めた学校運営による教育効果の向上を図り、教育先進都市を目指す本市の新たな拠点として、新しい時代の学びを実現する義務教育学校の設置に向けて取り組む。

２　事業内容

測量業務委託（予算額　１０，６９８千円）

川里地域の学校新設に向け、基本構想・基本計画を基に、整備予定地の用地測量業務を実施する。



３　予算額　１０，６９８千円

川里地域でのワークショップの様子

県外私立高等学校等入学金補助事業

担当　学務課　学事担当
内線　３３２０

１　目　的

県外の私立高等学校（専攻科及び別科を除き、全日制に限る。）及び私立特別支援学校（高等部及び専攻科に限る。）（以下「県外私立高等学校等」という。）に在学する生徒の保護者の経済的負担の軽減と生徒の修学促進を図るため、市独自で、入学金に対する補助制度を実施する。

２　事業内容

（１）補助対象者

県外私立高等学校等に在学（当該年度４月１日に県外私立高等学校等へ入学し、引き続き同年５月１日現在で同校に在学）している生徒の保護者であって、次に掲げる要件のいずれにも該当する者

・市内に住所を有し、引き続き１年以上居住していること。
・市税の滞納がないこと。
・別に定める所得基準を満たすこと。

（２）補助金の額

対象生徒１人当たり１００，０００円。ただし、補助金の交付は一生徒につき入学初年度の１回に限る。

（３）所 得 基 準

所得要件の判定には、課税所得等をもとに以下のとおり算出した「判定額」を用いる。

ア　保護者ごとの所得要件の判定額は次のとおり算出する。
　【判定額】＝【（市民税の）課税標準額】×0.06－【市民税の調整控除の額】
イ　保護者が２人いる場合は、２人分の判定額を合算する。
ウ　保護者全員の判定額の合計が、１６２，３００円未満に当てはまるか確認

（４）交付手順

①補助金の交付を受けようとする場合は、補助金交付申請書（兼請求書）に、当該年度５月１日以降の在学証明書等を添付して担当課へ提出する。
②担当課において申請の内容を審査の上、補助金の交付の可否について決定し、補助金交付決定通知書により、申請者に通知するとともに、補助金を交付することを決定したときは、申請者へ補助金を交付する。

３　予算額　１，０００千円

教育支援センター管理運営事業

担当　学校支援課　教育支援センター
電話　０４８－５６９－３１８１

１　目　的

学校教育のさらなる充実と児童生徒・保護者へのきめ細やかな支援をするため、教育相談・適応指導教室・特別支援教育・教職員研修等の事業を推進し、実施する拠点として川里ふるさと館内に「教育支援センター」を設置し、適正に管理運営する。

〇鴻巣市立教育支援センター条例（平成 22 年３月 30 日条例第５号）

〇鴻巣市立教育支援センター条例施行規則（平成 22 年４月６日教委規則第２号）

２　令和７年度の変更点

令和７年３月３１日の小谷小学校の閉校に伴い、現在、川里ふるさと館内に設置している鴻巣市立教育支援センターについては、利用者の利便性の向上及びより良い教育環境の整備に向けて、小谷小学校内へ移転するため１２月市議会に議案を提出し承認いただいた。これにより、８月に教育支援センターを小谷小学校に移転する。

今後のスケジュールは、令和７年度の１学期は川里ふるさと館にて教育支援センター業務及び適応指導教室を実施し、夏休みに引っ越しを行い８月より現在の小谷小学校にて業務開始予定。

また、現在実施している学校開放事業や、放課後児童クラブの活用を継続するとともに、その他の活用としてがん検診や乳幼児健診等の各種検（健）診の実施を検討している。

３　予算　１８，６５５千円

教育相談室活用事業

担当　学校支援課　教育支援センター
電話　０４８－５６９－３１８１

１　目　的

学校生活、家庭生活又は社会生活において悩みや課題を持つ児童生徒、保護者、学校関係者等に対し、状況に応じた適切な相談活動の充実を図るため、「鴻巣市教育相談室」を設置する。

２　事業内容

教育支援センターに、臨床心理士、専門教育相談員、就学支援相談員、スクールソーシャルワーカー、教育指導員等を配置し、いじめや不登校、子育て、発達、就学等各種相談に対応し、保育所、幼稚園、学校等との連携を図り、相談体制の充実を図る。また、教職員の研修を行い、授業力の向上を目指す。

令和７年度は新たに、不登校児童生徒の支援を推進するために、スクールソーシャルワーカーを１名増員する。

３　予算額　２９，２２６千円

教育相談実績（令和５年度　３，５０５件）

<相談者内訳>　（単位：人）

	来　所	電　話	訪　問	合　計
未就学児	169	2	439	610
小学生	158	95	196	449
中学生	119	27	103	249
年少児保護者	0	1	0	1
年中児保護者	27	22	13	62
年長児保護者	210	123	46	379
小学生保護者	244	222	120	586
中学生保護者	166	166	52	384
幼・保教職員	1	33	12	46
小・中教職員	2	210	373	585
さわやか相談員	1	1	36	38
その他	7	91	18	116
合　　計	1,104	993	1,408	3,505

<相談内容内訳>　（単位：人）

	来　所	電　話	訪　問	合　計
いじめ	2	1	0	3
不登校	328	309	330	967
友人	8	11	4	23
性格・行動	230	224	516	970
学業	12	38	31	81
就学	150	137	174	461
特別支援	116	158	266	540
5歳児健診	249	5	34	288
教職員との関係	4	17	1	22
家庭	0	33	20	53
その他	5	60	32	97
合　　計	1,104	993	1,408	3,505
備考				

文化芸術振興事業

担当　生涯学習課　文化・文化財担当
内線　３３５１

１　目　的

文化芸術振興による地域の活性化を図るため、鴻巣市文化センターが行う芸術文化振興に寄与する事業に対し補助を行う。

また、本市の文化及び芸術の振興に要する経費として、新たに文化芸術振興基金積立金を設立することで持続的な事業の財源に充てる。

２　事業内容

〇文化振興事業費補助金　　１５，０００千円
〇文化芸術振興基金積立金　　１，１３８千円（新規）

本市における文化及び芸術の振興に要する経費の財源に充てるため、鴻巣市文化芸術振興基金を設置する。

文化芸術振興を安定的に、かつ継続的に進める観点での活用を想定しており、令和５年３月に施行した「鴻巣市文化芸術振興基本条例」に基づき、「鴻巣市文化芸術振興基本計画」に定める５つの基本施策に対し基金を活用する。

（鴻巣市文化芸術振興基本計画）
基本施策１　文化芸術を創出し、及び発信する機会の充実
基本施策２　文化芸術を享受する機会の充実
基本施策３　文化芸術の保存及び継承
基本施策４　文化芸術の担い手の育成及び交流の促進
基本施策５　こどもたちが文化芸術に触れる機会の創出

３　予算額　１６,１３８千円

公民館費庶務事業

担当　中央公民館
電話　０４８－５４２－８４０３

１　目　的

公民館・生涯学習センターの運営を円滑に行い、安全安心で快適な環境を提供し、地域住民の交流や学びの場を維持、促進する。

２　事業内容

会計年度任用職員報酬や、備品の整備、施設の維持管理、地域連携等の強化に必要な業務を行う。体育室に扇風機を設置し、空気循環の改善を通じて、熱中症防止と快適な利用環境を確保する。

また、個人利用の開始及びオンライン決済を導入することで、利用者の利便性の向上を図る。

３　予算額　４５，７９０千円

公民館講座の様子

ピアノ演奏時の様子

スポーツフェスティバル開催事業

担当　スポーツ課　市民スポーツ担当
内線　３３８２

１　目　的

スポーツに親しむ機会を提供し、スポーツを通じて、うるおいと活力のあるスポーツ都市・鴻巣をつくるとともに、スポーツ、レクリエーション等を普及し、健やかで思いやりのあるまちづくりを推進する。

２　事業内容

陸上競技場において子どもから高齢者まで幅広い世代がニュースポーツやパラスポーツ等のレクリエーション要素を取り入れた様々なスポーツを楽しめる体験型イベントとして実施し、スポーツに親しむ機会を提供することにより生涯スポーツの推進を図る。

また、総合体育館では健康づくり課による健康まつりを同日開催する。

３　予算額　５，３２０千円

スポーツフェスティバルこうのす２０２４の様子

公共施設予約システム事業

担当　スポーツ課　施設管理担当
内線　３３８５

１　目　的

スポーツ施設や公民館等の空き状況確認や利用予約ができる公共施設予約システムの運用を行う。

また、新しい公共施設予約システムの稼働開始に合わせて、オンライン決済機能の導入や対象施設の拡充などを行い、公共施設のさらなる利便性向上を図る。

２　事業内容

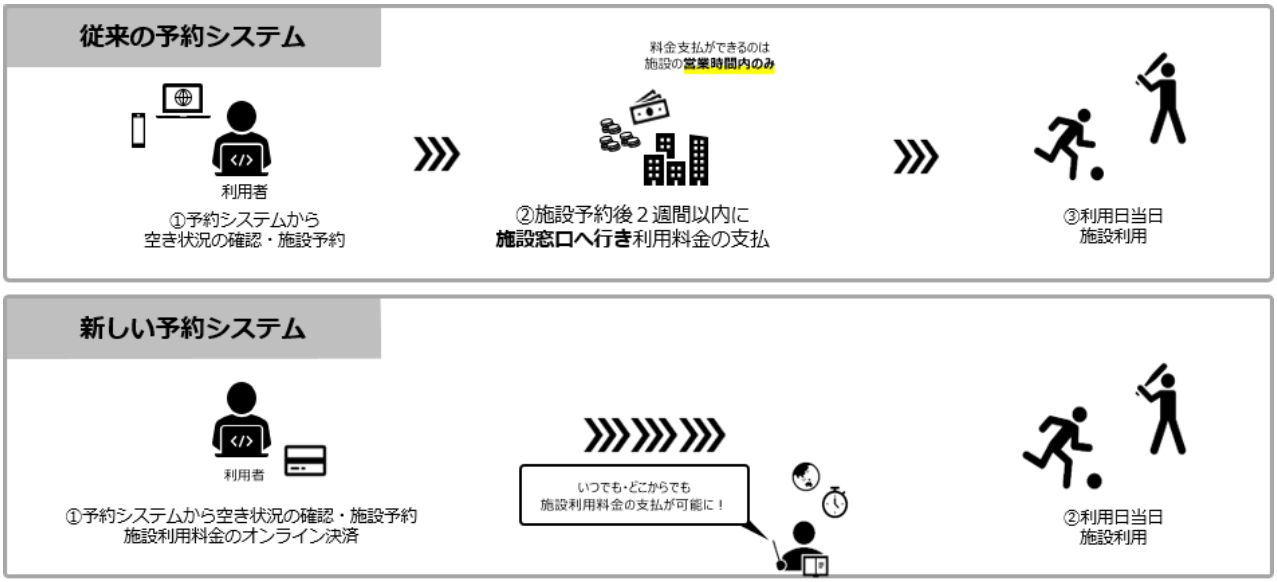
（１）オンライン決済システム使用料（予算額　１，６７２，０００円）

公共施設予約システムに、インター―ネット上から利用料金等の支払いができるオンライン決済機能を導入する（令和７年４月１日から運用開始）。

【支払方法】

・クレジットカード決済（VISA・MASTER・JCB・AMEX・DINERS）
・QRコード決済（PayPay）
・その他（Apple Pay）

（２）システム使用料（予算額　４，７３６，１６０円）

現在の公共施設予約システムで利用可能な施設に加え、にぎわい交流館にこのす、市民活動センター及び農業研修センターの３施設へ、公共施設予約システムを導入する。

３　予算額　６，４０９千円